

三國稻荷社



お稲荷さんは、稲作・農業の神様。
狐はその使いです。

私、ダキニ天も白狐にま
たがっていますよ。




尼天 吒天 茶枳天



[ダキニ天\(茶枳尼天\)とは | ご利益や崇り/怖いと呼ばれる理由を解説 | 神仏.ネット \(shinto-bukkyo.net\)](http://shinto-bukkyo.net) より

狐を介して、お稲荷さんとダキニ天は、
一緒にまつられるようになりました。

尼^ニ吒^タ天^{テン}
天^{テン}え^え枳^ジ天^{テン} 



吒枳尼天

ダキニ天はインドの古代民間信仰（ヒンドゥー教）に由来して、空海によって日本に入ってから平安時代中期には「剣と宝珠などを持った女神が白狐にまたがる姿」で表現されるようになった。

本来、稲荷信仰とダキニ天信仰は別のものであったが、「狐」を介して、日本古来の（神道系）稲荷神と仏教のダキニ天との習合（別々の教義が取り合わされること）が次第に進み、鎌倉中期頃からは神仏両系の稲荷が併存することになった。

戦国時代には各地の武将が城を守る神として、近世では憑き物落としや病氣平癒、開運出世の神様として、特に人を選ばず、誰でも願いを聞いてくれる神として、博徒や遊女、被差別階級の人たちにも広く信仰されたと言われている。

新出稲荷保存会

今は、ご近所の14軒で、掃除草取りなど
を行っています。



3月の初午、7月の「ひまち」
土用の日に行っています。